

持続可能な社会の発展に向けた取組

Projects for Sustainable Developments : SDGs Promotion Projects

By utilizing the UNESCO 17 SDGs, our institution aims to educate and provide the students with the skills and abilities to contribute to a sustainable society. Our students are encouraged to examine the issues from a global perspective while taking into consideration the people, social systems and environment which are affected.

本校では、地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力の育成を学習・教育目標の一つに掲げており、その達成に資する取組としてSDGsの実現に向けて取り組んでいます。

1. 地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）

本校はサステナブルスクールとして活動を開始したことを契機に、その成果を地域へ還元するため、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）が公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）と共同で運営する「ESD活動支援センター」が設置する地域ESD活動推進拠点として登録しています。ESDの普及に向け、自治体と連携しながらSDGs教材を使用した出前授業などに取り組んでいます。



2. SDGsのホールスクールアプローチ

持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、ビジネスコミュニケーション学科3年生の専門科目で「開発学入門」を開講し、SDGsと開発問題について学習します。さらに同学科4年生の専門科目で「開発学Ⅰ・Ⅱ」を開講しており、経済成長、世界経済、消費者行動等の視点から開発に理解を深める授業を行っています。



3. SDGs Webinarの開催

SDGs Webinarでは、持続可能な地域社会づくりに貢献できるような未来のエンジニアを育てることを目的としています。学生自身が困難な状況に置かれた場合に「自分で創っていこう！」そう思える人材を育成することを目指す取組です。Webinarで地域単位の問題発見・提起を行い、高専生の特徴の一つである実践力を生かし、アントレプレナーシップを育て、国連の掲げるSDGs17と起業プランの紐づけを学びます。



SDGs Webinar 2022

SDGs Webinar 2022は、2022年9月リーダーによる視察研修、10月～12月の指定土曜日、オンラインでワークショップ及び発表会の計7日開催されました。本Webinarでは、米国シリコンバレーで起業した日本人講師3名よりマーケティングやアントレプレナーシップの講義、実際にAppleでエンジニアとして活躍している講師の体験談、長岡/豊橋技科大の教授よりSDGs17についての講義を受けました。

その後、SDGs17をフレームワークとして、地域に共通した問題を見つけ、学んだ講義を基にビジネス案として作成・発表しました。

SDGs17に繋がるイメージの発想力やグローバルリーダーに必要な集団でのコミュニケーション能力の向上を目指し、SDGsWebinarは今後も福島高専のオリジナルWebinarとして継続していきます。

